

県立図書館だより

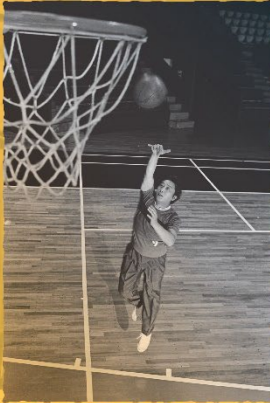
令和8年7月

青森県立図書館報 第55号

青森県近代文学館 特別展「あおもりの文学とスポーツ」



ゴルフをする石坂洋次郎とうら夫人
撮影：芳賀日出男



バスケットボールをする三浦哲郎
写真提供：文藝春秋



野球をする寺山修司

特別展

あおもりの 文学とスポーツ

令和8年
7月18日(土)
11月1日(日)

休館日
7月23日(木)・8月27日(木)
9月10日(木)・9月24日(木)
10月22日(木)

青森県近代文学館の今年度の特別展は、「あおもりの文学とスポーツ」と題して、青森の作家とスポーツにまつわる様々な資料を展示し、文学とスポーツの交わりについて紹介します。

目次

特別展「あおもりの文学とスポーツ」	1～2
参考・郷土室からのお知らせ	3～5
資料担当の仕事について	6
ようこそ文学館へ！近代文学館資料の紹介	7
図書館の利用案内	8

特別展

あおもりの 文学とスポーツ

競技者として、あるいは観戦者としてスポーツに熱中した青森の作家は多く、スポーツを題材にした文学作品やエピソードが数多く存在しています。

この展示では、青森の作家とスポーツにまつわる様々な資料と共に、文学とスポーツの交わりについて紹介します。

令和8（2026）年は、昭和52（1977）年に開催された第32回国民体育大会〔あすなろ国体〕以来、約50年ぶりに第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会〔青の煌めきあおもり国スポ・障スポ〕が青森県で開催されます。

本展示は、同大会の文化プログラム事業として開催気運を盛り上げると共に、青森のスポーツや文学の魅力を広く発信するものです。

○会期：令和8年7月18日（土）～11月1日（日）

○場所：青森県近代文学館 企画展示室（県立図書館2階）

○開館時間：9:00～17:00（観覧無料）

○展示概要 **青森のスポーツ…あすなろ国体や青森のスポーツ事情など**

相撲…相撲好きだった文人知事・竹内俊吉など

野球…親子で野球好きだった佐藤紅緑・サトウハチロー親子、

『小説 太田幸司』を著した北畠八穂など

ボクシング…「あしたのジョー」主題歌を作詞した寺山修司など

バスケットボール…国体で準決勝進出を果たした三浦哲郎など

ゴルフ…ゴルフを趣味としていた石坂洋次郎など

ウィンタースポーツ…「シーハイルの歌」を作詞した林桓次郎など

※この他にも様々なスポーツや作家を紹介します！

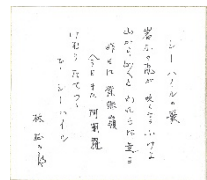


竹内俊吉絵皿
「姿勢は低く」

サトウハチロー愛用
キャッチャーマスク
（サトウハチロー記念館蔵）



寺山修司 映画台本
「ボクサー」



林桓次郎色紙
「シーハイルの歌」

関連イベント「あおもり文学ゼミ」

日時：8月9日（日）14:00～15:30 ※予約不要

場所：青森県立図書館4階研修室 ※参加無料

特別展「あおもりの文学とスポーツ」の内容を職員が詳しく解説します。

★参加者全員に文学館オリジナルクリアファイルをプレゼントします！

◆ 最新の情報は当館ホームページにてご確認ください ◆

バットを構える福士幸次郎



参考・郷土室からのお知らせ

「レファレンス協同データベース」を使って みんなの疑問を、みんなで共有！

今回はレファレンス協同データベース（略称：レファ協）を紹介します。

レファ協を紹介する主な目的は 2 つあり、一つ目はインターネットで皆さんも使える便利なツールであること、二つ目は私たち図書館員の業務の一端を知っていただきたいからです（業務の見える化）。

レファ協（<https://crd.ndl.go.jp/reference/>）とは、国立国会図書館が多くの公立図書館、大学図書館等と協同で構築している、レファレンス（調べものの相談）のデータベースです。

当館もこの取り組みに参加していて、一定のルールのもと、毎月皆さんから寄せられる質問やこれらの回答事例をデータベースに登録しています。

このデータベースの特徴の一つに、「一般公開」されている事例であれば、どの図書館のものでもインターネットで閲覧可能な点があります（当館でも予め質問者に個人が特定されない形で一般公開してもよいかの許諾を得た上で、郷土に関する事例を公開しています。）。



<レファ協トップ画面イメージ>

「だいたいの疑問や調べ物は自分のスマホで調べたり、生成 AI に聞けば教えてくれるから、レファ協なんか頼らなくても大丈夫」という意見もあるでしょうが、「レファ協には読み物として楽しめるデータがたくさん登録されています。データは楽しいだけでなく「どのように調べたか？」（回答プロセス）、「典拠となる本等」（参考資料）が明記されています。図書館員が実際に調べたデータなので、信頼度も抜群」（レファレンス協同データベースHPから引用）なのです。

2025 年に当館に寄せられ、一般公開している事例を簡単に紹介します。

これは、青森市の佃（つくだ）小学校に、校歌とは別に「緑のそよ風 ま白い雲も…」で始まる歌詞の歌があったとの記憶があり、この歌に関する資料や記録、それらの所蔵先などが知りたい、という方からの相談でした。

この方は、佃小学校にも事前に尋ねたそうですが、今では歌われていない

のでわからないとのことでした。

私たちは、図書館資料（佃小学校の文集や県内の校歌をまとめた資料、新聞のクリッピングなど）や、国立国会図書館がデジタル化している資料（国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp>）、インターネット情報、新聞のデータベースなどを調査しましたが、質問のような歌詞にはたどりつきませんでした。

青森市の学校に関することなので、青森市民図書館にも協力を求め、当館で持っていない資料などを調べていただきましたが、適当な資料は見つかりませんでした。

皆さんが御自身だけで調べていたら、そろそろ諦めてきませんか？

しかし、図書館員は諦めません。調べものの相談が寄せられれば、何らかの参考になる情報を必死に見つけようとしています。



今回の事例では、当館併設の青森県近代文学館で企画展「あおもりの校歌」（2024年12月7日から2025年3月23日まで）を実施していたことを思い出し、この中に佃小学校関係の資料があるのではないかと仮説を立て調査を続けました。

担当した文学館職員に尋ねると、相談された方が探していた歌詞を展示した記憶があり、当該資料は青森市民図書館歴史資料室から借用したものであったことがわかりました。

早速同室へ照会すると、「みどりのそよ風 よろこびの歌」という題名で、歌詞等の印刷物を所蔵していることが確認できました。

ちなみにこの歌は、佃小学校の校歌の作詞、作曲を手がけた方々によるものした。

この質問に対する詳細な回答プロセスや、参考資料については、レファレンス協同データベース

（登録番号：青森-25-038）を参照していただければと思います。



<佃小の事例はこちらから>

レファ協が使えるツールだと冒頭に述べたのは、単に一つの問いに対し、どのように回答したということだけでなく、回答プロセスの多くから、「〇地方の△△分野の事柄なら「□□」という資料に詳しく掲載されている」などがわかるからです。

今回の調査は、校歌の類の調べものでしたので、回答プロセスで4点ほど青森県の校歌等に関する図書資料を掲載しています。ですから、例えば皆

さんが、母校の校歌を調べたいと思い立った際にも、役立つ情報が掲載されているはずです（青森県内の校歌等を知りたいときには、まずはこれらの資料を調べればいいのかぁ、とと思っていただけたら嬉しいです。）。

また、回答プロセスをご覧いただければ、私たち図書館員が皆さんから寄せられた相談へどのように対応しているかの一端がわかっていただけるのではないのでしょうか。

前述のとおりレファ協は読み物としても楽しいものです。

本稿執筆にあたり、レファ協 HP の「登録されているデータの例」(<https://crd.ndl.go.jp/jp/about/usage/index.html>)を見たところ、知ったら誰かに話したくなるような次のような事例が掲載されていました。

●「カラスが石鹼を食べるというのは事実か。また、なぜ石鹼を食べるのか。（鳥取県立図書館）」

●「自転車のことを「チャリンコ」「ママチャリ」「ケッタマシーン」などと呼ぶが、どういう語源か。（岐阜県図書館）」

などです。

特に後者の「自転車」を「ケッタマシーン」などと呼ぶ事例は、筆者の学生時代のサークルの友人（名古屋市出身）が「みんな（名古屋市出身以外の者）

も自転車をケッタマシーンって呼ぶでしょ？」と、さも当然のように話して

いたことを思い出すとともに、図書館員が調べた語源などがわかり、頭のすみにあった長年の疑問を見事に解消してくれました（なぜ自転車を「ケッタマシーン」と呼ぶようになったかは、是非レファ協 HP を閲覧してみてください。なお、最近名古屋市の方に伺うと、「もう、自転車をケッタマシーン



「ケッタマシーン？」（「もう、自転車をケッタマシーンとは言いませんよ」とのことでした…）。



皆さんも、知れば知るほど興味・関心がどんどん湧き出てくるような経験はありませんか？そんな時、レファ協のサイトも是非参考にしてみてください。また、レファ協で得た知識を基に、次の疑問、質問を是非当館に寄せてください。そして、回答プロセスを含め一般公開させていただけないでしょうか。

みんなの疑問を、みんなで共有し、生活、仕事、研究などのあらゆる場面で「知の共有化」をより進めていきましょう！

※「ご存じですか？この人・この資料～郷土資料の紹介～」のページは、今号から資料担当が図書館資料全般について情報をお届けするページとなります。

資料担当の仕事について

「資料」とは、皆さんが利用している図書、新聞・雑誌、視聴覚資料などをまとめて指す言葉です。今回は、県立図書館の資料担当の仕事について、いくつかお話してみたいと思います。

.....

資料担当の仕事① 資料の受入

職員が図書館に必要な本を決定（「選書」といいます）してから、皆さんに提供するまでの様々な作業をしています。例えば書店への発注と納品検査、非売品の寄贈依頼、ラベルやバーコード、図書館名の押印といった各種装備などです。毎週の新着図書の設置は、資料担当が行っています。

.....

資料担当の仕事② 目録の管理

皆さんが利用している図書館の検索端末に入っている資料の詳細なデータ（「目録」といいます）の整備をしています。基本的には市販の専用データを使っていますが、一般に流通しておらず市販データにない資料の場合は、担当が1件ずつデータを作成し、入力しています。

.....

資料担当の仕事③ 郷土資料の収集

図書館が収集している郷土資料（青森県に関する資料、青森県在住者・出身者の著作物等）の中には、自費出版や地域限定の配布物など、一般に流通していない資料も多くあります。新聞等の出版情報を元に資料収集をしています。

.....

資料担当の仕事④ 特別蔵書点検

県立図書館では、蔵書点検のため年に10日ほど休館しています。

資料に貼ってあるバーコードを読み取り、読み取ったデータとシステム上のデータを照合し、資料がある棚の位置などが一致しているか確認する作業を行います。特別蔵書点検は年に2回実施しています。

.....

資料担当の仕事⑤ 破損資料の補修

どれだけ資料を丁寧に扱っていても、何度も利用していればどこか破れたり、壊れたりする部分が出てきますので、これらの補修を行っています。（利用者の過失により汚れたり大きく破損したりした場合には、弁償をお願いしています）

.....

これから図書館資料について様々な情報発信をしてまいりますので、よろしくお願いします。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第54回)

特別展「あおもりの文学とスポーツ」展示資料から

近代文学館では令和8年7月18日から11月1日まで、特別展「あおもりの文学とスポーツ」を開催します。今回は展示資料の中から、北畠八穂による原稿「小説 太田幸司」と、林柁次郎による色紙「シーハイルの歌」をご紹介します。

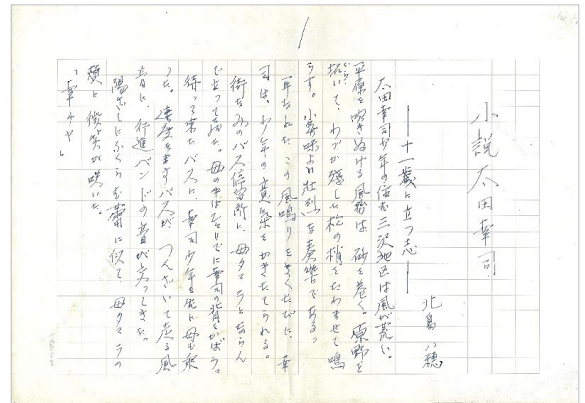
① 北畠八穂 原稿「小説 太田幸司」

昭和44年の第51回全国高等学校野球選手権大会、決勝戦初となる引き分け再試合を経て準優勝となった三沢高等学校野球部と、同校のエース・太田幸司投手の活躍は、現在も語り草となっています。

鎌倉の自宅で郷里の球児たちの活躍を見守っていた北畠八穂は、一人で投げ抜く太田投手の姿に魅了され、大会後に高校選抜全日本代表チームの一員としてブラジル遠征に赴くことになった太田について、ブラジルの知人に「太田投手はわたくしの同県人ですから、なにとぞよろしくお願い申し上げます。少年太田投手がそちらまで遠征するのです。どうぞはげましてください」と手紙まで書いたそうです。

同年10月、雑誌社の取材に同行した八穂は、三沢高校の応接室で遠征から戻った太田との対面を果たし、その人柄にも大きな魅力を感じたそうです。昭和45年2月、「太田投手を小説に」という依頼を受けていた八穂は、近鉄バファローズへの入団が決まってキャンプに参加していた太田と再会し取材をしています。同年3月、この取材をもとにした『小説 太田幸司』が刊行されました。

当館で全12章の原稿を所蔵している『小説 太田幸司』は、八穂が太田の人柄に惹かれたからでしょうか、野球の描写は控えめで、家族の愛情や仲間との友情が感じられる作品となっています。



② 林柁次郎 色紙「シーハイルの歌」

五所川原出身の林柁次郎は東奥日報社に勤務し、文化部長や論説委員、「月刊東奥」編集長などを歴任した歌人です。

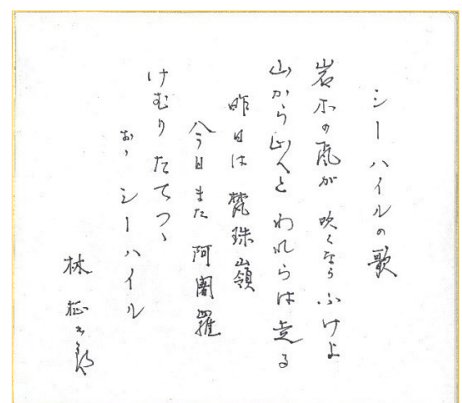
昭和4年1月、五所川原農学校（現 五所川原農林高等学校）スキー部の大鰐町での合宿中、監督を務めていた柁次郎は、選手たちに対して、翌日阿闍羅山頂に登ること、その際自分たちで作ったスキー歌を歌いながら行くことを提案しました。

柁次郎がその場で選手たちに各自何か1曲歌うよう促すと、一人が流行歌「浮草の旅」（作詞・作曲 鳥取春陽）を歌い、そのメロディーに柁次郎が即興で歌詞を盛り込み「シーハイル」（ドイツ語で「スキー万歳」の意）が誕生しました。一晩がかりで歌詞を覚えた一同は、翌日の阿闍羅登山でこの歌を高唱しました。

県内を中心に親しまれていった「シーハイル」は、戦争の混乱の中で忘れられていきましたが、昭和35年、ダーク・ダックスによってレコード化、さらにNHK「みんなのうた」で歌われると、冬山の歌として全国的に有名となり、スキーヤーの間で広く愛唱されるようになっていきました。

昭和53年7月、この歌の由来を永く後世に伝える記念碑として「シーハイルの碑」が五所川原市の「梵珠少年自然の家」に隣接する神山スキー場の展望所に建立されました。この碑は令和4年11月に同市内の菊ヶ丘運動公園内、旧五所川原農林高等学校栄校舎跡地へ移設されています。

この色紙は、三節ある「シーハイル」の最初の一節を、柁次郎が自らの手で揮毫したものです。



令和8年度利用案内

開館時間

◆一般閲覧室 9:00～19:00

◆参考・郷土室 9:00～19:00

◆児童閲覧室 9:00～17:00

◆近代文学館 9:00～17:00

貸出点数・期間

◆点数：10点まで

※CDなどの視聴覚資料を含みます。

◆期間：2週間

※予約が入っていない場合、1週間の期間延長ができます。予約の有無は一般閲覧室へお尋ねください。

児童閲覧室の行事

◆おはなし会

第2土曜日 14:00～14:30
(10月を除く)

◆おしえて先生！知るしるする探検隊

第4土曜日 14:00～14:30
(10、11、12、3月を除く)

近代文学館の行事

◆特別展「あおもりの文学とスポーツ」

7/18(土)～11/1(日)

◆展示「平成・令和の作家」(常設展示室中央)

第2期 6/26(金)～9/23(水)
成田名璃子 杉野草兵 川村慶子

◆新収蔵資料展示「文人知事 竹内俊吉」

7/24(金)～9/23(水)

青森県立図書館・青森県近代文学館

●住所 〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

●電話番号

◆一般閲覧室 : 017-729-4300

※貸出・返却・延長・予約のご連絡などはこちらへ。

◆参考・郷土室 : 017-729-4311

※レファレンスや児童サービスについてのご連絡はこちらへ。

◆図書館代表電話 : 017-739-4211

◆図書館代表FAX : 017-739-8353

◆近代文学館 : 017-739-2575

◆音声案内 : 017-729-4111

●ホームページ <https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



図書館だより 第55号

令和8年7月17日発行

編集・発行 青森県立図書館